

自治体向けWebアプリケーションソフトウェアシリーズ



Joruriは、徳島県とサイトブリッジ社が共同で開発し、オープンソース (GNU GPL v3) として公開した、Webアプリケーションソフトウェアのシリーズです。

イントラネット向けシステム		インターネット向けシステム	
Joruri Gw <small>Joruri Groupware</small>	Joruri Mail <small>Joruri Mail</small>	Joruri Maps <small>Joruri Maps</small>	Joruri CMS <small>Joruri Content Management System</small>
Joruri Plus+	Joruri Video <small>Joruri Video</small>	Joruri DMS <small>Joruri Disaster Management System</small>	

オープンソースソフトウェア (GNU GPL v3) だから・・・

1. ライセンス費が無料
2. ベンダーロックインから解放
3. システムの改変や再配布が可能

国内の開発会社が開発しているから・・・

1. セキュリティ対策、ミドルウェアバージョンアップに対応
2. サポートサービスを提供 (無償・有償)
3. システム構築、機能開発をご支援

Joruriシリーズは、各種のオープンソースソフトウェアを利用して構成しています。



稼働環境

プロダクト	Ver	最新Ver	Ruby	Rails	初回リリース	最新リリース	備考
Joruri CMS	1	1.3.2	1.9.1	2.3.16	2010/3/23	2013/4/24	開発終了
	2	2.2.1	2.1.5	3.2.13	2013/6/3	2016/3/17	開発終了
	3	3.0.4	2.3.1	4.2.6	2016/7/15	2017/3/21	オリジナル版 (機能追加は終了)
	2017	Release 0	2.3.1	5.0.0.1	2017/4/28		ZOMEKIの安定版
Joruri Gw	1	1.1.0	1.8.7	2.3.4	2011/5/23	2012/5/23	開発終了
	2	2.3.2	1.9.3	3.2.7	2012/9/25	2016/4/19	開発終了
	3	3.2.0	2.3.1	4.2.7	2015/7/27	2016/9/30	
Joruri Mail	1	1.3.1	1.9.2	3.0.0	2011/3/23	2015/7/28	開発終了
	2	2.1.3	2.3.1	5.0.0.1	2016/8/9	2017/6/15	
Joruri Maps	1	1.1.0	1.9.3	3.2.11	2014/6/10	2015/7/10	
Joruri Plus+	1	1.1.0	1.9.2	3.0.0	2012/11/8	2014/1/27	
Joruri Video	1	1.0.0	1.9.2	3.0.0	2012/11/8		
Joruri DMS	1	1.0.0	2.1.6	3.2.11	2016/6/2		

Joruriオプション製品の稼働環境

Joruriオプション製品はAdobe Airアプリのため、稼働環境はAdobe Airのシステム要件に準じます。

Adobe Air システム要件 http://www.adobe.com/jp/products/air/tech-specs.html	CPU	2.33GHz以上のx86互換プロセッサ
	メモリ	512MB以上のRAM (1GB以上を推奨)
	OS	Windows 7、Windows 8.1 Classic、Windows 10

2016/10/20時点

Joruriオプション製品を利用する場合、次のJoruriシステムを導入する必要があります。

	Joruri Gw	Joruri Mail	メールサーバ (imap)	Joruri Desktopサーバ
Joruri Mail checker	○※1	○	○	
Joruri Mail store		○	○	
Joruri Desktop	○	○	○	○
会議等案内表示システム	○※2			
在庁表示システム	○※2			

※1 Joruri Gwのリマインダー情報を表示する場合は必要となります。

※2 Joruri Gw Ver.2.3以上に対応しています。

サイトブリッジ株式会社

URL <http://www.sitebridge.co.jp/> E-mail info@sitebridge.co.jp

徳島本社 〒770-0942 徳島県徳島市昭和町3丁目6-5 板東ビル2階
Tel 088-611-5606 Fax 088-611-5607

東京支社 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3丁目16-18 ヒラソル三鷹303号
Tel 0422-26-9151 会社携帯 080-3441-9151

Joruri Joruriは徳島県とサイトブリッジ株式会社の登録商標です。



当社はRuby Associationの協賛会員です。

Joruri CMS開発の経緯

2008年(平成20年)6月に、徳島県ホームページ再構築のプロポーザルがあり、当社の提案が採用されたことがすべての始まりです。当社は再構築前のロータスノーツで構築されたホームページの運用保守業務を受託しており、徳島県サイトの構造や日々登録される情報については熟知していました。しかし当時の会社規模からすると、CMS一式を年度末までに開発する業務はかなり難易度の高いプロジェクトでした。

島根県CMSの流用を断念

CMS開発の要求仕様として、島根県CMSを流用するという要件がありました。この件については、他の機能仕様の実現可能性などを徳島県様と総合的に検討し、最終的には島根県CMSを全く流用しない方法で開発することとなりました。島根県CMSのソースコードは流用しませんでした。島根県CMSの稼働環境はそのまま導入することとし、Ruby/Rails環境でのCMS開発がスタートしました。

Joruri CMSの納品

2008年度(平成20年度)末、Joruri CMSと新しい徳島県ホームページが完成し、徳島県様に納品しました。前年7月から開発を開始し、わずか9ヶ月で本格的なCMSを完成させることができました。この開発では、コンセプト、コンテンツ、ピース、アイテム種別、レイアウトなどサイトを構成する様々なしくみを考案し実現していきました。ブログポータルシステムを自社開発していた経験を生かしたこともあり、サイトの一部しか更新できないブログシステムと、サイトをゼロから完全に作成できるCMSでは複雑さが全く異なります。今までの8年間のJoruriシリーズの開発の流れの中で、この2008年度のCMSの開発スピードは驚異的と言えます。

GNU GPL v3ライセンスを選択

島根県CMSを流用しなかったため、オープンソースとして公開するライセンスは自由に決めることができました。その当時最も一般的だったGPLとすることとし、v2とv3のいずれにするかを検討し、v3としました。島根県CMS Ver.1のライセンスは、GPL v2であったため、Joruri CMSとはライセンスが異なります。



徳島県ホームページのリニューアル公開

2008年度(平成20年度)末に、CMSと新しいホームページが完成しましたが、リニューアル公開するためには、既存のホームページに登録されているデータをすべて新しいホームページに登録する必要があります。2009年度(平成21年度)4月から、既存サイトのデータを移行する業務を開始し、10月に新しいホームページを公開しました。

Joruriの命名と発表

Joruriの名称は、徳島県情報システム課(当時)の担当の方に命名していただきました。当社でJoruriのロゴを数点作成し、その中から徳島県様に決めていただきました。2009年(平成28年)7月21日の定例記者会見にて、徳島県知事様が新しいホームページ作成システムの名称としてJoruriの名前を発表しました。この記者会見にて、Joruri CMSをオープンソースとして公開することを告知しています。

Joruriのロゴデザイン



阿波人形浄瑠璃では、後ろで3人の黒子が人形を操ります。素晴らしいホームページを裏でJoruriがしっかりと支えていますという意味です。ロゴには、「傾城阿波の鳴門」に登場する「お弓」のイメージを配置しています。またロゴの色は、インディゴブルー、藍染の青としました。

Japan Originated Ruby-based RESTful and Integrated CMSの意味

- Japan Originated(国産の)よく利用されているオープンソースのCMSは、ほとんど海外製という状況において、日本人の感性にあった国産CMSを作るという意気込みを表しています。
- Ruby-based(プログラミング言語Rubyを利用した)日本人のまつもとゆきひろさんが開発し、世界に普及しているプログラミング言語を使って開発しているという意味です。
- RESTful(RESTfulなAPIを備えた)RESTという簡易なインタフェース手法に沿ったAPIを備え、各システム間のデータ連携が可能なシステムを目指すことを示します。
- Integrated CMS(統合型CMS)単なるWebサイトの更新ツールではなく、自治体サイトの構築から運用までのすべてのフェーズに必要な機能を備えた統合的なCMSという意味です。

Joruri CMS オープンソース公開

Joruri CMSは、2010年3月23日にオープンソースとして公開しました。この日は株式会社アイ・ディ・エス(現サイトブリッジ社)の創立10周年の日でした。会社の創立記念日に公開する予定で準備を進め、計画通り無事公開できました。当日は公開準備の作業が夜まで続き、創立10周年の記念行事などを何も行わないまま、その日の業務を終えました。



Joruri CMSオープンソース公開時のJoruri公式サイト

OSC(オープンソースカンファレンス)神戸に出展

Joruri CMSのオープンソース公開の10日前、2010年3月13日に、神戸で開催されたオープンソースカンファレンス(OSC)にJoruri CMSを出展しました。まだオープンソース公開前でしたが、Rubyで開発した国産CMSということで、来場者の方々に興味を持っていただきました。OSCには現在まで合計41回出展しており、Joruriシリーズを認知してもらうための有効な告知手段となっています。



Joruri Gw, Mailの開発

徳島県様ではロータスノーツを公式ホームページの管理の他に、庁内のグループウェア、メールシステムとして利用していました。ロータスノーツをリプレースするために、次にグループウェアとメールシステムを再構築することとなりました。Joruri CMSをWebシステム構築の基盤技術として利用し、グループウェアとメールシステムの開発がスタートしました。

フクオカRuby大賞

Joruri CMSは、2011年3月に第3回フクオカRuby大賞の「優秀賞」を受賞しました。フクオカRuby大賞は、福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議および福岡県が主催する、Rubyの特徴を生かして開発したシステムや新しいビジネスモデル・普及に関する取り組みを評価する賞です。Joruri CMSの受賞後、2012年にはJoruri Gwが同じく「優秀賞」、2014年にはJoruri Mapsが「Engin Yard賞」を受賞しています。



Joruri CMSからの派生版「ZOMEKI」

2012年8月、東京で事業を展開していた子会社のサイトブリッジ社にて開発を進めていた、Joruri CMSから派生したCMS、「ZOMEKI(ぞめき)」をオープンソース公開しました。自治体サイト再構築のプロポーザルでは、Joruri CMSには備わっていない機能が要件として記載されており、Joruri CMSでは機能要件が高いプロポーザルに対応できない状況でした。そこでJoruri CMSから分岐し、プロポーザル対応の機能追加版のCMSを開発することとしました。現在、ZOMEKIの開発は社内のプログラマーに引き継がれ、2016年10月にVer.3をリリースしています。

CMS導入数でJoruri CMSが第3位

日本広報協会の2014年の調査によると、市区町村へのCMS導入数にて、Joruri CMSは71団体、ZOMEKIは10団体とのことです。当社の確認では、2016年現在の導入数は、Joruri CMS 97団体、ZOMEKI 14団体となっています。

順位	CMS	導入団体数
1	Net Crew	83
2	CMS-8341	75
3	Joruri CMS	71
4	CMSKIT	63
5	UDFace	62
6	MovableType	59
7	AssetNow	50
8	i-City	45
8	いくるウェブ	45
10	4Uweb/CMS	42
11	独自開発	41
12	WordPress	39
13	i-SITE	37
14	WillCommunity	35
15	DBPS	28
16	ALAYA	23
16	XOOPS	23
18	Webコア	21
19	e-CLEAR	20
20	SITE PUBLIS	18
21	cms-sypher	17
22	WebRelease	16
23	HOTNEWS	14
24	GWebLink-Neo	11
24	Rooster	11
26	MODX	10
26	ZOMEKI	10
28	島根県CMS	9
合計		978

日本広報協会のWebサイトのデータを参照して作成
http://www.koho.or.jp/useful/research/2014/web.html

Joruri Mapsの開発

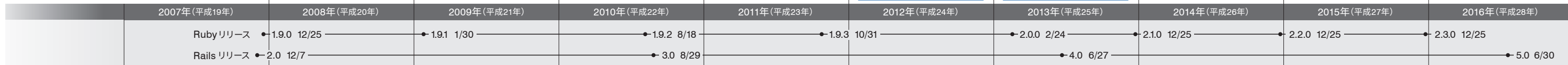
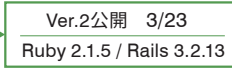
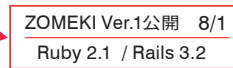
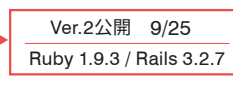
2013年1月にユニバーサルデザインマップを開発をスタートし、4月に「とくしまユニバーサルデザインマップ」(http://maps.pref.tokushima.jp/ud/)として公開しました。その後、この地図の技術を活用し、統合GISサイト「徳島県総合地図提供システム」を開発し、2013年11月に公開しました。GIS周辺プログラムを整理し、翌2014年にJoruri Mapsとしてオープンソース公開しました。

Joruri DMSの開発

災害時情報共有システムの開発は2012年に開始し、4年間の開発成果を集大成して、2016年6月にJoruri DMSとしてオープンソース公開しました。Joruri DMSは、Joruri Gwをシステムのベースとして開発を進め、その上にユニバーサルデザインマップの地図技術を導入しました。

会社近況

アイ・ディ・エス社は、2012年に事務所を引越し、新しい事務所の窓にJoruriのシールを貼りました。2015年7月に社名をサイトブリッジ社に変更し、心機一転、新世代Joruriの開発に取り組んでいます。



ホームページ管理システム



Joruri CMSは、自治体ホームページを構築・運用するためのCMS(コンテンツ管理システム)です。それぞれの職員の方が公式ホームページを更新できるように、わかりやすく・操作が簡単な管理画面を提供しています。自治体ごとに異なる各種サーバー構成に対応できるように、静的HTMLの書き出し、CMSとWebの分離にも対応しています。

自治体ホームページの構築から運用までをトータルでサポート

Joruriは徳島県ホームページを再構築するプロジェクトにおいて開発されました。2010年3月にオープンソースソフトウェアとして公開し、84の自治体公式サイトに導入されています。(2017年7月当社調べ)

自治体サイト向けのCMSに対する様々な要望に対応するため、Joruriの使いやすさを踏襲し、機能を強化したJoruri CMS 2017を2017年4月にリリースしました。

Joruri CMS 2017の特徴

特徴1 豊富な記事作成と表示機能

外部サイトや添付ファイルへのタイトルからの直リンク、イベントカレンダーへの同時登録、多段階/並列の承認フローなど、記事の作成から公開処理に関する便利な機能を備えています。また記事一覧にサムネイル写真や記事概要テキストを表示し、地域ポータル風の構成とすることができます。

特徴2 多様な記事分類を実現

記事を分類するカテゴリの数や階層の深さの制限をなくし、多様な切り口で記事を分類できるようになりました。複数の記事コンテンツでカテゴリ分類を共用できるため、記事コンテンツを複数に分割して管理できます。

特徴3 マルチテナントでの運用に対応

一式のJoruri CMSで複数のホームページを構築・運用することができます。議会サイト、観光サイトなど公式サイト以外のサイトを統合的に管理できます。

特徴4 静的HTMLファイルの書き出しが可能

静的なHTMLファイルを書き出すことができるため、CMSをイントラネットに配置し、外部クラウドに配置したWebサーバーにHTMLファイルを転送する構成を実現できます。

特徴5 そのまま使えるサンプルサイトを提供

自治体ホームページとしてそのまま使える、JIS X 8341-3:2016に準拠したサンプルサイトのデータを同梱して配布しています。

特徴6 ライセンスをMITに変更

オープンソースのライセンスを従来のGNU GPL v3から、MITライセンスに変更しました。以前のGPL v3ライセンスでは、組織内利用の範囲を超えると、ソースコードの公開義務がありました。

MITライセンスではこの規約が無く、ITベンダー様が機能追加したバージョンを複数の自治体様に導入する際に、ソースコードを公開する必要がなくなりました。

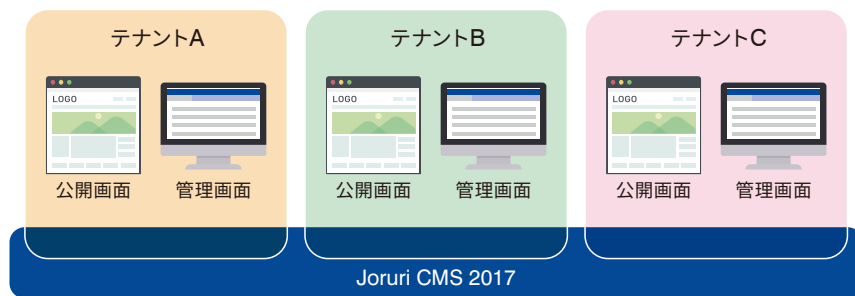


サンプルデータの画面

自治体情報セキュリティクラウドでの稼働実績

2017年3月に稼働を開始した徳島県の自治体情報セキュリティクラウドでは、13の団体様の公式ホームページを一式のJoruri CMS 2017で運用しています。

複数のホームページを一式のCMSで構築するマルチテナント構成とすることで、サーバー資源の有効活用や保守コストの低減を実現しています。



マルチテナントイメージ図

Joruri CMS 2017の管理画面

Joruri CMS 2017は、Joruri CMSの管理画面の基本的な操作性を踏襲し、運用の利便性を高める改善を行いました。



記事登録画面

● 記事登録画面

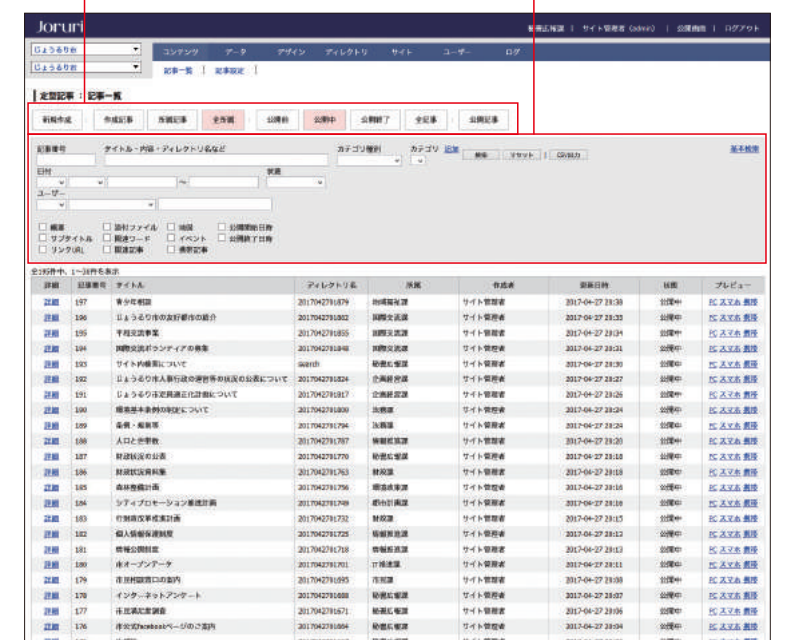
記事登録画面は、入力項目をタブで分類し、必要最小限の項目の記事タブに集約しました。記事設定により不要なタブは表示されないため、シンプルでわかりやすい画面となります。

● 記事一覧画面

記事一覧画面の絞り込みボタンを細分化し、所蔵と公開状態をそれぞれ指定して、その組み合わせで記事一覧を表示します。

記事一覧の検索にて、添付ファイル、地図、公開日時指定を検索条件として設定できます。

● 記事一覧の絞り込み条件を設定するボタン ● 検索条件の設定パネル



記事一覧画面

Joruri CMS Ver.3

Joruri CMSは、プログラミング言語およびフレームワークのバージョンアップに対応して、バージョンアップを行っています。今後も稼働環境に対応する開発を継続します。



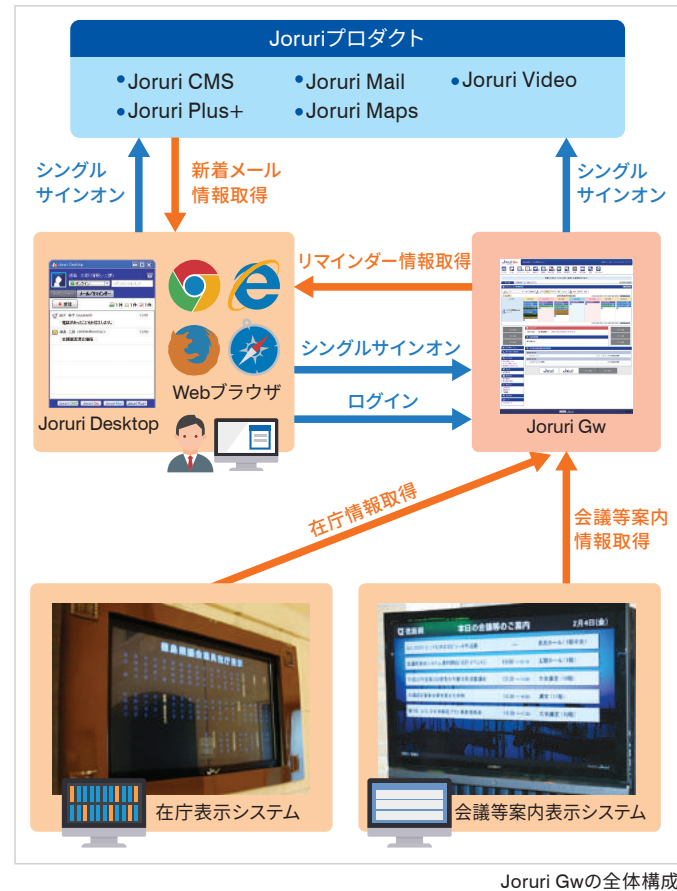
記事一覧画面



サンプルデータの画面



Joruri Gwは自治体向けの機能を搭載したグループウェアシステムです。スケジュール・掲示板による情報共有、連絡メモ・閲覧板による情報伝達、書庫・電子図書による情報管理などが行えます。



Joruri Gwの全体構成

特徴1 ポータル画面

ポータル画面では、各機能へのリンク、1週間の個人スケジュール、新着情報を表示します。ポータル画面に表示される機能へのリンク、表示する新着情報については、全ユーザー共通の設定として変更することができます。

特徴2 情報の見える化

スケジュールでは、自分のスケジュールを日単位、週単位、月単位で表示します。登録されたスケジュールはドラッグ&ドロップで自由に移動させることができます。また、他のユーザーのスケジュールを代理で登録することもできます。スケジュールに合わせて施設の予約も同時に行うことができます。

特徴3 メール

Joruri Gwにはメールの送受信機能はありませんが、Joruri Mailを別途構築し、ユーザー連携することでWebメールの送受信機能を実装することができます。

特徴4 権限設定

Joruri Gwは一般ユーザーとシステム管理者の2種類の権限を持っています。システム管理者は全ユーザーに対する設定を行います。一般ユーザーはカスタムグループなどの個人設定を行います。

Joruri Gwの機能

ポータル

必要な情報を一目で確認だけでなく、欲しい情報にも簡単にアクセスすることができます。

連絡メモ

個人宛あるいは複数人宛にメモを送り簡単に情報伝達ができます。携帯のメールにも転送可能。

掲示板

目的に沿った掲示板を作成します。掲示板ごとに管理者を設定することができます。

電子図書

テキストをマニュアルとして整理する電子図書を作成し、管理します。

アンケート

ユーザーに向けて記名、無記名のアンケートを作成します。回答は一覧表示の他に集計表示ができます。

スケジュール

個人の予定を登録する時に施設予約も同時に行えます。表示グループを個人でカスタマイズできます。

閲覧板

該当する所属宛に一齐に配信できるため、スムーズに閲覧を行うことができます。

質問管理

質問と回答をFAQ・QAの二種類の表示形式で管理できます。検索機能もあります。

設定

設定項目はここでまとめて集中管理します。ユーザー向けと管理者向けメニューがあります。

ワークフロー

稟議を登録し、承認者は承認、差し戻し、棄却を行います。承認フローは稟議ごとにカスタマイズ可能です。

ToDo

個人の業務に期限を設けて登録し、業務管理を行います。スケジュールへの表示もできます。

照会・回答

各所属に照会文を一斉配信し、添付ファイルも含めた回答を依頼できます。

書庫

添付ファイルなどを格納する書庫を作成し、ユーザー同士のファイル共有に使用できます。

施設予約

事前に登録した施設の利用予約を行います。合わせて参加者のスケジュールに自動で登録します。

研修管理

研修の登録と予約を行うことができます。管理者は参加者の管理を容易に行うことができます。

Joruri Gwの特徴 メニューのカスタマイズが可能

Joruri Gwは全ユーザー共通でポータル画面のメニューのカスタマイズを画面から行うことができます。

タブメニュー

全ユーザー共通のタブの追加、削除を行うことができます。

広告バナー

全ユーザー共通で広告バナーの設定を行うことができます。管理画面でバナーごとのクリック集計を確認することができます。

リンクメニュー

全ユーザー共通のメニューの追加、削除を行うことができます。

全庁掲示板新着情報

全庁掲示板新着情報は常にポータル画面に表示されます。



ポータル画面

アイコンメニュー

全ユーザー共通のメニューの追加、削除を行うことができます。

スケジュール

全ユーザー共通でポータル画面でのスケジュールの表示/非表示の設定を行うことができます。

リマインダー

全ユーザー共通でリマインダーに表示する項目(ToDo、連絡メモ、閲覧板、照会・回答、ワークフローJoruri Plus+)の設定を行うことができます。

新着情報

全ユーザー共通で新着情報に表示する項目(掲示板、質問管理、書庫、電子図書)の設定を行うことができます。

災害モード

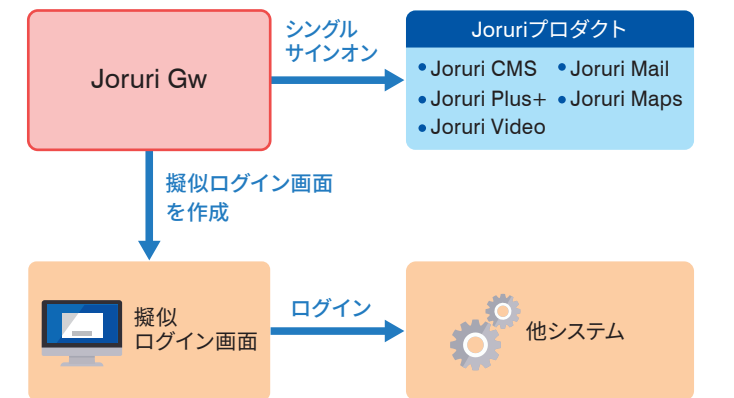
Joruri Gwは災害モードを設定することができます。災害モードでは、スケジュール、広告バナー、新着情報が非表示となり、設定した災害モード用の掲示板の新着情報をポータル画面上に表示します。



ポータル画面 災害モード時

シングルサインオン機能

Joruri Gwは各Joruri製品へのシングルサインオン機能を搭載しています。また、Joruri製品以外のシステムについてもID、パスワードでの擬似シングルサインオン機能を搭載していますので、画面から簡単に設定することができます。



Joruri Gwオプション製品

● Joruri Desktop

Joruri Desktopはユーザー同士のコミュニケーションを支援するデスクトップアプリです。ユーザー同士でチャットができる他、グループウェアのリマインダー情報や新着メール情報を確認することができます。



● 在庁表示システム

在庁表示システムはグループウェアで登録された議員や幹部の在庁状況を表示するクライアントアプリです。玄関に端末を設置することで来庁者に在庁状況を知らせることができます。



● 会議等案内表示システム

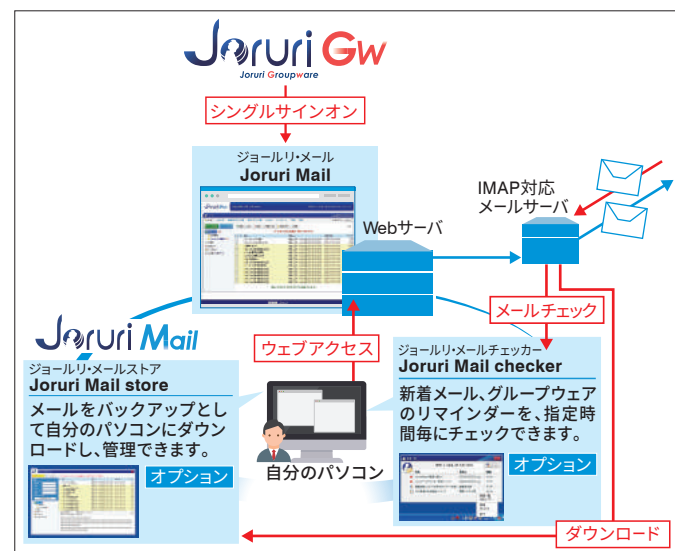
会議等案内表示システムはグループウェアで登録された本日の会議の情報を表示するクライアントアプリです。玄関に端末を設置することで来庁者に本日の会議の案内を知らせることができます。



Joruri Mail



ポータル画面



Joruri Mailの全体構成

Joruri Mailの機能

- メール受信**
IMAPサーバに保存されているメールを表示します。メールは未読/既読で表示が異なり、また各メールに対してスター、ラベルを設定することができます。作成するメールはテキストメール、HTMLメールを自由に切り替えることができます。
- 組織アドレス帳**
Joruri Mailのユーザー情報から組織ごとにユーザーを分類したアドレス帳です。組織アドレス帳を編集するには管理画面のユーザーを編集する必要があります。組織アドレス帳のユーザーはメール作成時に宛先に設定することができます。
- テンプレート**
頻繁に送信するメールについて、宛先、件名、本文の雛形をテンプレートとして登録することができます。テンプレートはメール作成画面で自由に選択することができます。
- メモ**
作業リストや備忘録をメモに登録することができます。
- 管理画面**
システム管理者がユーザーや所属グループの設定を行います。ユーザーや所属グループは手動で編集したり、LDAPサーバからデータ連携をしたりすることができます。

- メール作成**
IMAPサーバを通じてメールを送信します。宛先は画面からの直接入力に加え組織アドレス帳、個人アドレス帳から設定することができます。作成するメールはテキストメール、HTMLメールを自由に切り替えることができます。
- 個人アドレス帳**
ユーザー独自のアドレス帳を作成します。個人アドレス帳はユーザーごとに設定することができます。Joruri Mailのユーザー情報とは切り離されていますので、Joruri Mail以外のユーザーも登録することができます。個人アドレス帳のユーザーはメール作成時に宛先に設定することができます。
- 署名**
メール作成時に本文に表示する電子署名を登録します。電子署名は複数登録することができ、メール作成画面では自由に切り替えることができます。
- ツール**
受信トレイのメールを指定の条件に合わせて一括削除を行います。
- 設定**
ポータル画面の表示項目やアドレス帳の並び順などの設定を行います。また、切替ユーザーを設定することで1つのログインユーザーで複数のメールアドレスの管理を行うことができます。

- フォルダー**
受信トレイにフォルダを作成します。受信トレイに受信メールを作成したフォルダに移動させることができます。また、作成したフォルダはIMAPサーバ上にも作成されます。
- クイックアドレス帳**
メールを送信した連絡先は受信トレイ上にあるクイックアドレス帳に表示されます。頻繁にメールを送信する場合は、いちいちアドレス帳を開くことなくこの機能からメールを送信することができます。クイックアドレス帳の連絡先の表示件数は管理画面で変更することができます。
- メールフィルタ**
事前に登録した差出人、宛先、タイトルの条件で、受信したメールをフォルダに分類することができます。複数の条件を設定することができ、AND・ORを指定することができます。
- ヘルプ**
管理画面で登録したヘルプ記事を表示します。

Joruri MailはWebメールクライアント(MUA:Mail User Agent)のシステムです。Joruri Mailを稼働中のメールサーバ(Postfix, qmailなど)に接続すると、簡単にWebメールのシステムを構築することができます。

- 特徴1 Webメール**
Joruri MailはWebシステムのため、Joruri Mailに接続できるパソコンがあれば、どこからでもメールの送受信を行うことができます。
- 特徴2 IMAP**
Joruri MailはIMAPプロトコルを用いて、メールサーバから受信メールのデータを取得します。このため、受信メールのデータはメールサーバのみに存在し、操作端末にデータを保持しないため、受信メールが漏洩したということも起こりません。
- 特徴3 アドレス帳**
Joruri Mailでは、Joruri Mailのユーザー情報を元にした組織アドレス帳とユーザー個人が独自に作成した個人アドレス帳を有しています。個人アドレス帳ではJoruri Mailに登録されていない連絡先を登録することができます。メール作成画面ではこのアドレス帳から宛先(To, Cc, Bcc)を設定することができます。
- 特徴4 フィルタ**
フィルタ機能を用いると、受信メールをフィルタ機能で設定した条件に従って分類することができます。分類の条件には差出人、宛先(To)、件名を対象に、特定の単語が含まれているかどうかの設定を行うことができます。また、条件は複数設定することができ、各条件を全て一致、いずれか一致を選択することができますので、柔軟な条件設定を行うことが可能となっています。
- 特徴5 ユーザーの一元管理**
LDAP同期機能を用いれば、LDAPサーバのユーザー情報をJoruri Mailに反映させることができます。また、プロダクト同期機能を用いることで、Joruri Gwのユーザー情報をJoruri Mailに反映させることができます。これらの機能からJoruri Mailはユーザーの一元管理を実現しています。

メール作成時に様々なオプション設定が可能

宛先選択
宛先には、Cc、Bccを選択できます。また、返信時に宛先に設定されるメールアドレスを設定するReply-Toの設定を行うことができます。

添付ファイル
添付ファイルはファイル選択ダイアログから選択できるほか、ドラッグ&ドロップにより登録することも可能です。

開封確認/配信確認
メールには、開封確認、配信確認を設定することができます。ただし相手先の環境でこの機能が有効になっていないと設定しても機能しません。

送信/下書き/破棄
作成したメールは、即時配信、下書き保存、破棄を行うことができます。下書きを行うと、受信トレイの下書きフォルダにメールが保存されます。

アドレス帳選択
宛先には登録されている組織アドレス帳、個人アドレス帳から選択することができます。

メールの種類
メールごとにテキスト形式、HTML形式を切り替えることができます。

署名
設定画面で登録した署名を本文中に追記します。宛先に合わせて署名を使い分けることができます。

テンプレート
設定画面で登録したテンプレートを宛先、件名、本文に反映します。テンプレートを選択すると、それまでに入力された内容は破棄されます。

重要度
作成中のメールに重要度(高/低)のパラメータを付与します。

メール作成画面

受信メールに対してラベルの設定が可能

受信メールには重要、未処理などのラベルやスターを設定することができます。ラベルは設定メニューにおいて、ユーザーごとに自由に変更することができます。

1つのログインアカウントで複数のメールアドレスに対して送受信可能

設定 切り替えユーザー 登録画面

切り替えユーザー機能を使用することで、最大5つまでのメールを1つのログインアカウントで送受信を行うことができます。登録したユーザーはポータル画面において、プルダウンリストにて切り替えることが可能です。

ポータル画面

Joruri Mailオプション製品

- Joruri Mail checker**
Joruri Mail checkerは新着メール、Joruri Gwのリマインダー情報を指定時間ごとにチェックし、新着情報があれば自分のパソコンの画面でお知らせするクライアントアプリです。
 - Joruri Mail store**
Joruri Mail storeはIMAP対応のメールサーバに保存されているメールを自分のパソコンにダウンロードし、管理を行うクライアントアプリです。
- ※ Joruri Mailオプション製品はクライアントアプリです。利用されるパソコンにインストールする必要があります。
 ※ Joruri Mailオプション製品はAirアプリのため、別途Adobe Airをインストールする必要があります。
 ※ Joruri Mailオプション製品はライセンス製品です。価格についてはお気軽にお問い合わせください。



▲ Joruri Maps 総合地図ポータル画面



▲ モバイル端末対応
スマートフォン、
タブレットに対応

▲ 分野別ポータル ▲ 検索機能付き
個別地図ポータル ▲ 個別地図表示画面

Joruri Mapsは、文字や画像などの情報を地図上に視覚的に表示する地理情報システム (GIS) です。専門的な知識をほとんど必要とせず位置に関する情報を持ったデータ (空間データ) を管理・加工し、視覚的に表示し、分析や迅速な判断の手助けとなるツールです。

特徴1 統合型GISに対応

Joruri Mapsでは複数の地図を管理・共有することができます。組織内の部署毎に利用する地図情報を統合管理することで、部署間でデータ共有を可能とし業務の効率化を図ることができます。

特徴2 背景地図の切り替えが可能

Joruri Mapsは初期データとして、国土地理院の基盤地図、グーグルマップ、オープンストリートマップを背景地図として選択することができます。また、背景地図データをサーバに設置するかネットワーク経由で取得できるURLを管理画面から登録するだけで追加することができます。

特徴3 複数の地理データ形式に対応

地図上に表示するレイヤーデータはアイコン用のポイントデータだけでなく、シェープファイル、ラスターデータ、KML・GPXファイルに対応しています。レイヤーデータは管理画面から簡単に登録することができます。

特徴4 表示だけでなく作図も可能

地図画面では登録したデータを地図上に表示するだけでなく、地図上にアイコン、線、矩形などを描画する事ができます。描画した図形はKMLファイルに出力することができます。

特徴5 オープンデータ対応

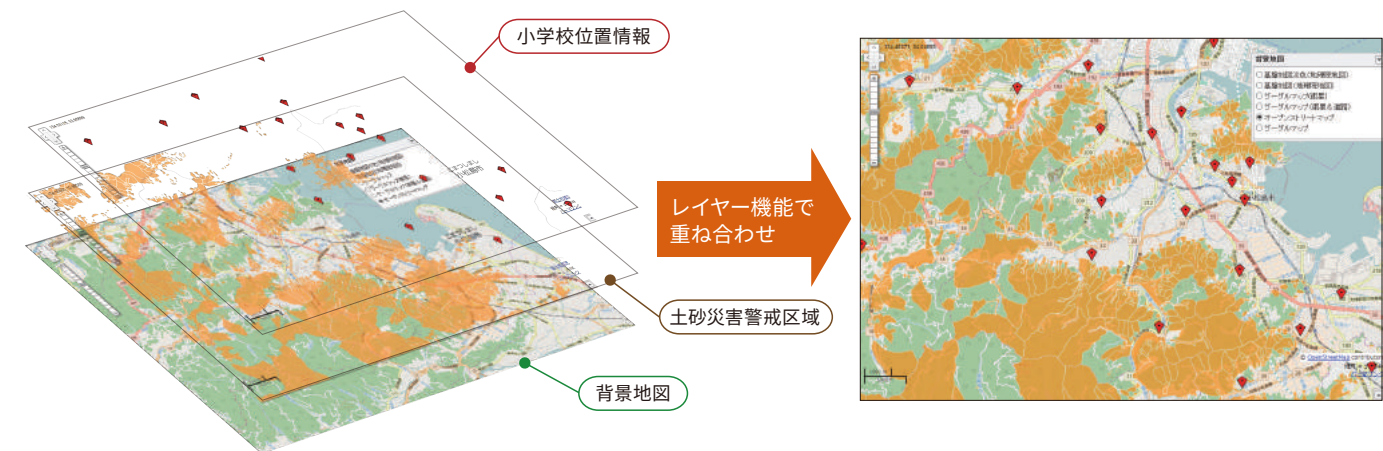
登録したレイヤーデータは、CSV・KMLの各ファイルに出力でき、他の地図へのデータコピーも簡単に行えます。また、データの出力可否は管理画面から設定可能で、ユーザーのデータダウンロードを制限することもできます。

特徴6 内部系と公関係に分かれた情報発信

イントラネットでの組織内に限定した情報共有と、公開Web上での一般向けの情報発信が可能です。イントラネット側から任意のデータのみ公開側にコピーすることもできます。

レイヤー機能による情報の統合

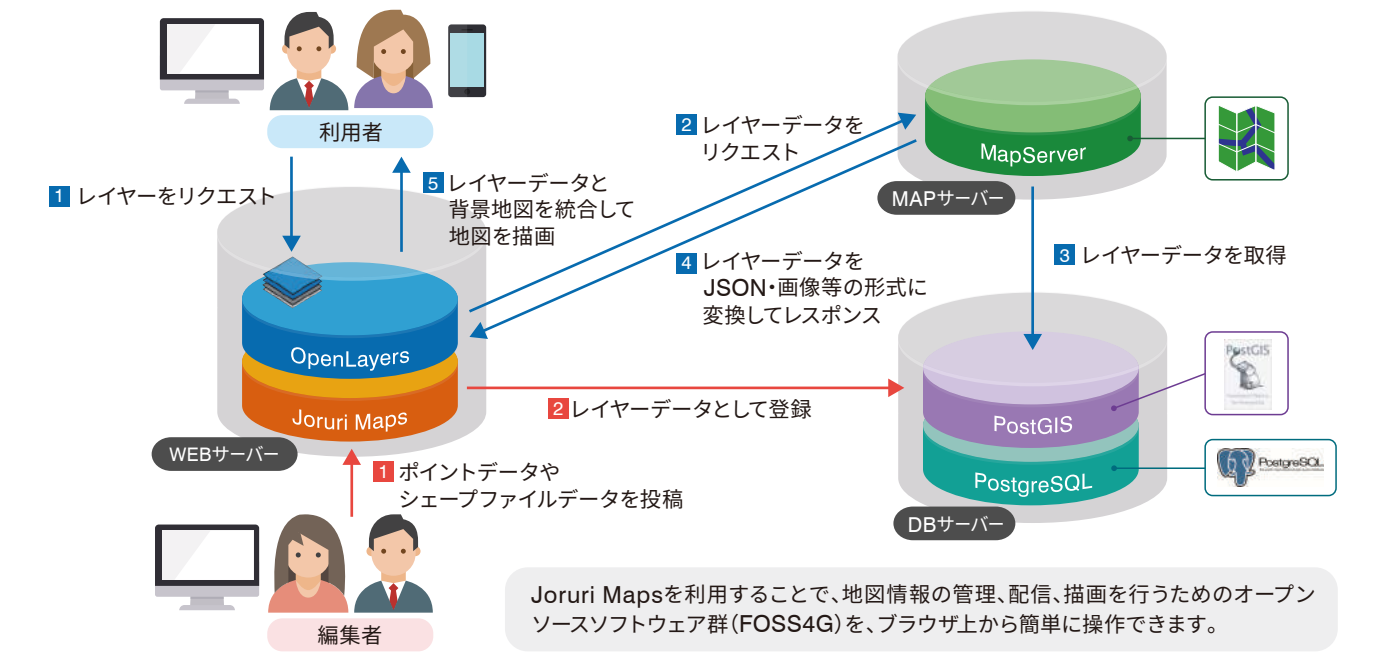
Joruri Mapsでは、システムに登録された所属ごとにレイヤーを管理することができます。レイヤーにはポイントデータ、点・線・面等の地理データを登録でき、公開されているレイヤーは、他の所属が個別地図を作成する時に利用することができます。組織内の所属が別個に管理している地理データを統合し、利用者が求める情報を視覚的にわかりやすく提供することができます。



公開画面の機能

エリア選択 選択したエリアに地図を移動します。		凡例 管理画面で登録した凡例を別ウィンドウで表示します。
印刷 印刷プレビューを表示します。		背景地図 管理画面で登録した背景地図を表示します。選択すると、選択した背景地図に切り替わります。
作図 アイコン、線、矩形などを地図に描画します。描画した図形はkmlファイルに出力することができます。		アイコン/吹き出し 管理画面で登録されたデータを表示します。アイコンをクリックすると吹き出しが表示されます。吹き出しの項目は管理画面で設定することができます。
リンク 表示されている状態の地図への直リンクURLを表示します。		透過度 面描画のレイヤーの透過度を変更します。
計測 緯度経度、直線距離、面積を計算します。		2画面表示 背景地図の異なる地図を並べて表示します。
出力 選択されたレイヤーをCSV/kmlファイルに出力します。		レイヤー 管理画面で地図に設定されたレイヤーを表示します。選択すると地図にレイヤーのデータが表示されます。

FOSS4GとRuby on Railsを融合した地理情報公開システム



Joruri Maps管理画面の機能

- 個別地図管理機能**
 地図画面に表示する地図を設定します。地図の公開状態、レイヤー設定、注意書きの設定を行います。
- レイヤー管理機能**
 地図画面に表示するレイヤーデータやレイヤーをグループ化するフォルダの設定を行います。
- 背景地図管理機能**
 背景地図の設定を行います。設定した背景地図は地図の背景地図として選択できるようになります。
- アイコン管理機能**
 Joruri Mapsで使用するアイコンの登録を行います。
- システム管理機能**
 ユーザー情報、組織、ポータル画面の写真などの設定を行います。

Joruri Plus+



Joruri Plus+ポータルトップ画面

Joruri Plus+は、人と人とのつながりを促進・支援する、SNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)システムです。共通のプロジェクトへの参加または個人間でのつながりにより、電子会議室やフィードを共有できます。

特徴1 個人同士の情報共有

ユーザーは情報配信として文字情報(フィード)、画像、動画、ファイル、投票(アンケート)を公開範囲を指定して配信することができます。また、他のユーザーが配信した情報について、いいねやスターの設定、コメントの登録を行うことができます。

特徴2 グループ内の情報共有

ユーザーはプロジェクトに参加することで、同じプロジェクトに所属するユーザーとアクティビティ、電子会議室などの機能を用いて文字情報、画像、動画、ファイルなどの情報共有を行うことができます。

特徴3 細かな設定が可能

ユーザーはプロフィール編集機能において、自分のプロフィールの公開範囲を設定できるほか、自分に関する処理が行われた場合の通知設定を設定することができます。

Joruri Plus+の機能

個人向けメニュー

ユーザー検索

ユーザーID、氏名でJoruri Plus+のユーザーを検索します。

個人メニュー

フィード、フォト(画像)、動画、ファイル、投票(アンケート)の表示、登録を行います。メニューをクリックすると、表示エリアに内容が表示されます。

申請情報

友達申請、プロジェクト参加申請などの申請、招待の状況を件数で表示します。

管理メニュー

個人のプロフィール編集、管理メニュー、管理画面を表示します。

フィード

投稿されたフィードにはコメントを残したり、いいね、スターを設定することができます。自分が投稿したフィードは投稿した後でも公開範囲を変更することができます。

オンライン情報

オンライン中の友達を表示します。

個人情報

近況の登録、プロフィールの編集、課員の状況の表示を行います。

表示エリア

選択したメニューの情報を時系列で一覧表示します。ニュースフィード表示設定で設定した件数が一覧表示されます。過去の投稿をクリックすると今までの投稿内容が一覧表示されます。

プロジェクトメニュー

プロジェクトメニュー

自分が所属するプロジェクトが一覧表示されます。プロジェクトをクリックすると、アクティビティ、電子会議室、スケジュール、メンバー、写真、ファイルのメニューが表示され、メニューをクリックすると、表示エリアに内容が表示されます。

カレンダー

当月のスケジュールが登録されている日にちにリンクが貼られ、クリックすると、その日のスケジュールの一覧を表示します。

スケジュール

プロジェクトにおけるイベントや会議の登録を行います。参加者に対してスケジュールのお知らせを配信します。また、参加/不参加を設定できるため、出欠確認にも利用することができます。

オンラインメンバー

オンライン中の同じプロジェクトに所属するメンバーを一覧表示します。

電子会議室

プロジェクトに所属するユーザー同士である議題に対して議論を行うことができます。発言にはフィードと同様に画像、動画、ファイルを添付することができます。

プロジェクト詳細情報

プロジェクトの詳細情報(名称、概要、メンバー、ファイル容量)を表示します。

Joruri Plus+のその他の機能

プロフィール編集

他のユーザーが自分を検索した時に表示する写真、プロフィールの編集を行います。写真は登録した写真の一部を切り抜いて、サムネイルを作成することができます。プロフィールは基本情報、勤務先、連絡先、特技、趣味・関心、PRに分かれており、分類ごとに友達に限定して公開するか全員に公開するかを設定することができます。

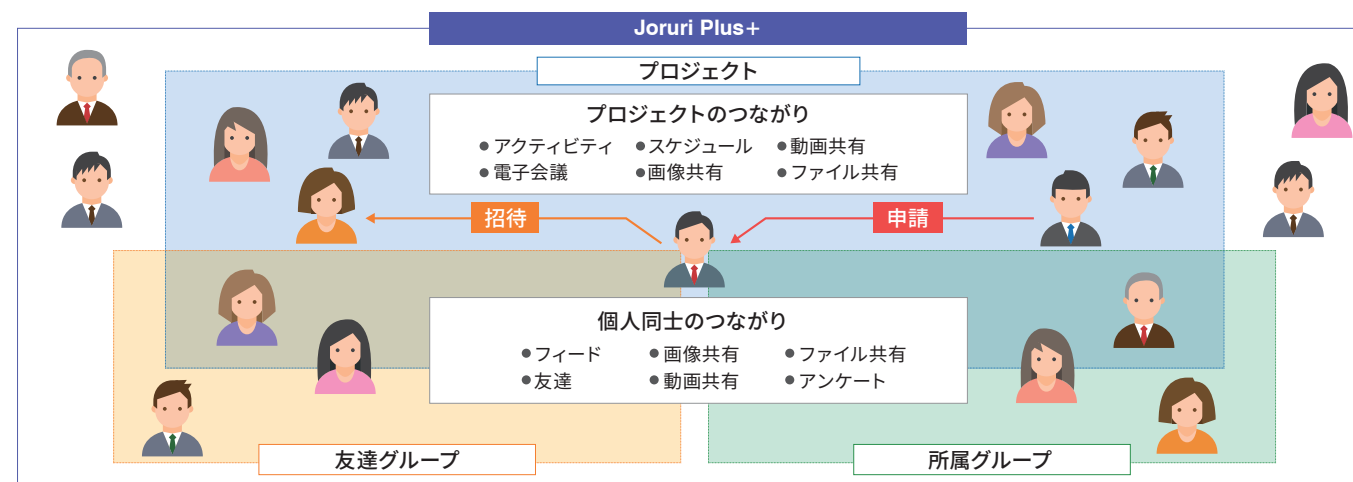
管理者メニュー

管理者メニューでは、以下の編集を行います。
 ・ユーザーがプロフィール編集で編集できる項目の設定
 ・フィードの公開範囲、プロジェクトのスケジュールの説明画面へのヘルプリンクの設定
 ・Joruri Plus+でアクションがあった時に対象となるユーザーのメールアドレスにメールを送信する設定

ユーザーグループ管理画面

ユーザー情報の管理(登録、編集、削除)および組織グループの管理(登録、編集、削除、ユーザーの割り当て)を行います。ユーザーや組織グループはCSVファイルから一括登録ができます。また、LDAPの設定を行えば、LDAPサーバのデータをJoruri Plus+に反映することができます。

Joruri Plus+のイメージ



配信できる情報種別

Joruri Plus+は、テキスト情報とともに、フォト(画像)、動画、ファイル、投票(アンケート)をコンテンツとして配信することができます。

● 入力エリア

文字情報

フィードはテキストエリアに最大1000文字まで入力することができます。現在入力されている文字数が欄外に表示されますので、何文字入力したかをいちいち数える必要がありません。
 ①、②のような機種依存文字にも対応しています。

公開範囲

フィードは、限定公開、一般公開など公開範囲を指定して投稿することができます。



● 文字情報と合わせて登録できる情報

画像

フォトをクリックすると、ファイル選択エリアが表示されます。登録すると、フィードに登録した画像が表示されます。規定サイズを超える画像は圧縮して保存されます。



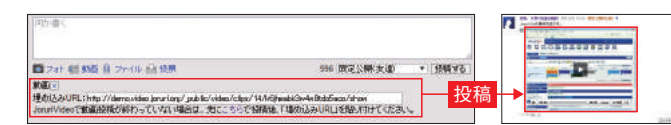
ファイル

ファイルをクリックすると、ファイル選択エリアが表示されます。登録すると、フィードに登録したファイルがリンクで表示されます。



動画

動画をクリックすると、URL入力エリアが表示されます。動画はJoruri Videoに登録した動画を登録することができます。動画を登録すると、フィードに埋め込み動画として登録されます。



投票(アンケート)

投票をクリックすると、選択式の簡易アンケートを作成することができます。アンケートには10個まで選択式の回答欄を作成することができます。登録すると、フィードに投票フォームが表示され、ユーザは回答を選択して登録することができます。



他のJoruriプロダクトとの連携

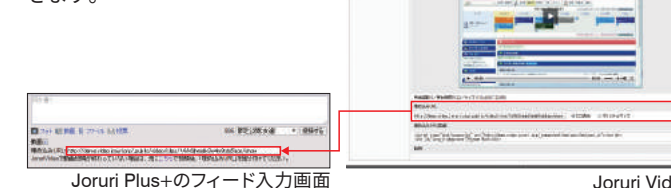
● Joruri Gwとの連携

Joruri GwにJoruri Plus+の設定を行うことで、Joruri Plus+において自分が所属しているプロジェクトの更新情報をJoruri Gwのリマインダーにて確認することができます。



● Joruri Videoとの連携

Joruri Videoの動画のURLをJoruri Plus+のフィードに登録することで、Joruri Videoで登録した動画をJoruri Plus+において埋め込み動画として再生することができます。



Joruri Video

Joruri VideoはWeb上で動画を管理する動画管理システムです。登録された動画はJoruri Videoで作成される埋め込みタグを用いることで容易に埋め込み動画を作成することができます。

特徴1 動画を簡単にアップロード

Joruri VideoはWebシステムのため、ブラウザから簡単に動画ファイルをアップロードすることができます。また、代表的な14種類の動画形式に対応しているため、エンコード作業を行わずに動画ファイルを登録することができます。

対応する動画形式

- flv
- avi
- asf
- mkv
- wmv
- ogm
- m2ts
- rm
- mp4
- mvb
- mpeg
- mts
- mov
- wmx

特徴2 特別な動画再生ソフトが不要

Joruri Videoにアップロードされた動画ファイルはflv形式に自動変換されます。このため、ブラウザにFlash Playerがインストールされていれば動画を再生することができますため、特別な動画再生ソフトをインストールする必要がありません。

特徴3 細かな設定が可能

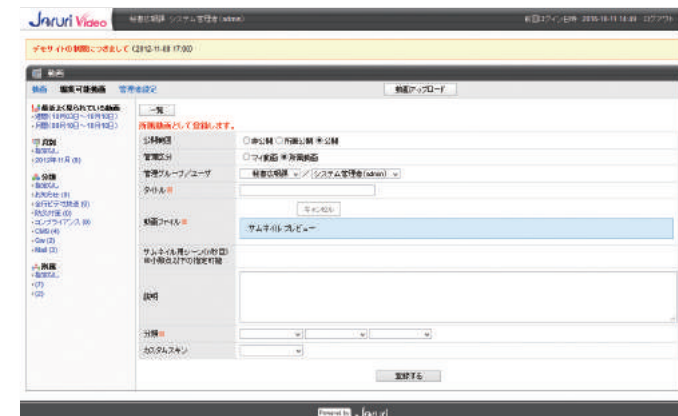
動画を登録する際に、タイトルと分類を設定することができます。(分類は3つまで可能) また、登録時に動画のシーンからサムネイルを作成することができるため、サムネイルを作成する手間を省くことができます。

特徴4 集計機能

動画ごとに視聴回数を集計ことができ、よく見られている動画を週単位、月単位で集計して一覧表示します。



Joruri Video 管理画面トップ



Joruri Video 動画アップロード

Joruri Videoの機能

動画機能

動画ファイルの登録及び閲覧を行います。登録時に、公開範囲の設定、管理区分の設定、サムネイルシーンの選択、分類設定を行うことができます。登録した動画は、タイトル、説明文、公開範囲、登録者の職員番号、所属コードなどによる検索を行うことができます。また、不適切な動画についてはシステム管理者が一時的に削除することが可能です。



管理者設定

分類種別、再生プレイヤーのスキン、メッセージ、動画ファイル最大サイズ、動画ファイル基準サイズ、基準フレームサイズ、登録可能制限時間、月別表示数の月数設定などの動画ファイルにおける設定を行うことができます。



管理者設定 分類種別



管理者設定 詳細設定

ユーザーグループ管理画面

ユーザー、所属の登録、編集、削除を行います。ユーザー、所属は画面からの登録、CSVファイルから一括登録、LDAPサーバーからのデータ連携による登録を行うことができます。



システム管理者 ユーザー登録画面

Joruri Dms

Joruri Disaster Management System

Joruri Dmsは災害時に各所から寄せられた情報を一元管理するためのシステムです。施設被害、配備体制、自主避難、避難所、避難勧告、被害情報(METHANE)の各情報を登録することができます。

特徴1 危険度に応じた色分け

登録した情報は、登録した内容によって、赤、黄、緑に色分けして表示されるため、登録内容を読まなくてもひと目で緊急度の高い情報を判断することができます。

特徴2 情報の見える化

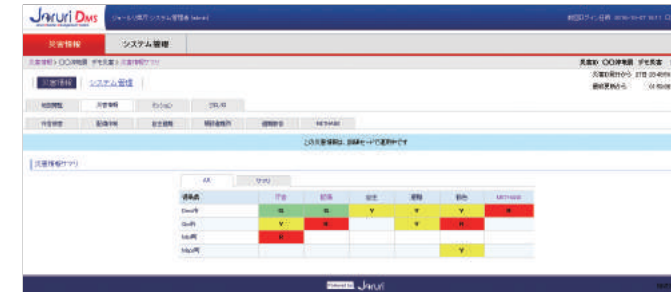
登録した情報は、地図画面の地図上にアイコンで表示されます。また、アセスメントロールアップ画面において、市町村単位、地区単位で機能ごとに色分けして表示されます。これらの機能を用いることで、現在の状況を視覚的に捉えることが可能となります。

特徴3 柔軟な権限設定

システムの各機能はモジュール単位で設定でき、ユーザーには市町村、所属単位で権限を割り当てることが可能です。このため、ユーザーごとに柔軟な権限設定を行うことができます。

特徴4 情報公開

データは非公開、内部公開、公開の3段階で登録することができます。(避難勧告は除く。) 非公開の場合は、機能にアクセスできるユーザーのみが閲覧できるため、未確認の情報でも登録しておくことが可能となっています。内部公開のステータスになると地図画面に表示されます。



Joruri Dms アセスメントロールアップ



Joruri Dms 地図画面

Joruri Dmsの機能

アセスメントロールアップ

登録された情報を市町村単位、地区単位で機能ごとに色分けして表示します。赤>黄>緑の3段階で色のイメージに沿った危険度を表すため、どこを何を優先すべきかを判断する手助けとなる機能です。

配備体制

配備体制では組織の現在の対応体制を登録します。体制は一次、二次、三次から選択して登録します。Joruri Dmsでは一次体制、二次体制は警戒本部、三次体制は対策本部を意味しています。

被害情報(METHANE)

土砂災害や浸水被害などの被害情報を登録します。被害情報ではいつ、どこでどのような災害が発生したか、危険度・拡大の可能性、現場到達経路などの基本情報、人的被害情報、住家被害・非住家被害の物的被害情報を登録することができます。登録された情報は市町村単位、地区単位で集計したレポートを出力することができます。また、重複登録されたデータについて、データの統合を行う機能も有しています。

庁舎被害

登録されている施設に対して、被害状況を登録します。災害が起きた時に最初に入力する画面となるため、ラジオボタンで選択して登録できるようになっています。

避難所

開設された避難所の情報を登録します。事前に登録された指定避難所と臨時で開設された未指定避難所に対して、避難世帯数、避難人数の登録を行うことができます。

地図画面

各機能において登録された情報を地図上にアイコン表示します。各機能の情報はレイヤーに分かれていますので、必要な情報を重ねて表示することができます。また、作図機能を用いることで、地図を用いて救助活動や定期巡回の計画を練ることも可能となっています。

避難勧告

市町村ごとに避難勧告を登録します。避難勧告の登録画面では同一地区内における複数箇所別々の情報を登録ことができ、また、市町村全域を対象とした情報を登録できるなど柔軟な登録を可能としています。

自主避難

自主避難者の情報を登録します。避難場所、避難世帯数、避難人数の登録を行うことができます。

管理画面

管理画面は地区、施設、避難所など担当者が入力するメニューとユーザー、組織、権限などシステム管理者が入力するメニューがあります。どのユーザーがどの情報を入力するかは権限設定で設定することができます。管理画面で登録したマスタ情報は登録後に発生した災害から有効となります。